

2017年度前期 授業アンケート結果集計 (基礎ゼミ・基礎セミナー・基礎演習)

<全学集計>

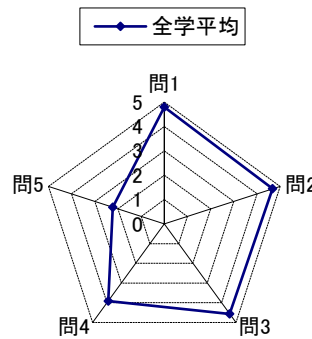
■集計グループ	全学集計
■履修登録者数	163人
■アンケート回答数	156人
■回収率	95.7%
■学生所属学部	

学部名	回答件数	構成比
教育学部	0	0.0%
外国語学部	0	0.0%
経済情報学部	0	0.0%
看護学部	0	0.0%
羽島教養(合同)	0	0.0%
短期大学部	152	97.4%
無回答	4	2.6%
合計	156	100.0%

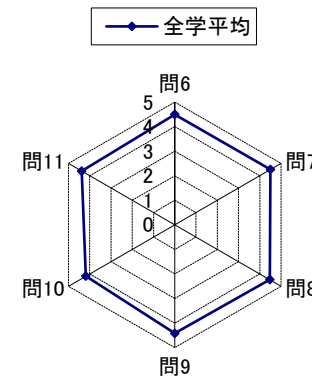
■学年		
学年	回答件数	構成比
1年	152	97.4%
2年	0	0.0%
3年	0	0.0%
4年	0	0.0%
無回答	4	2.6%
合計	156	100.0%

■性別		
性別	回答件数	構成比
男	2	1.3%
女	150	96.2%
無回答	4	2.6%
合計	156	100.0%

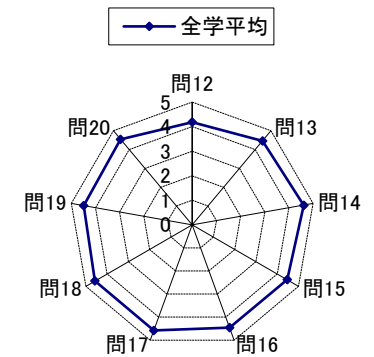
<学修意欲>



<授業内容>



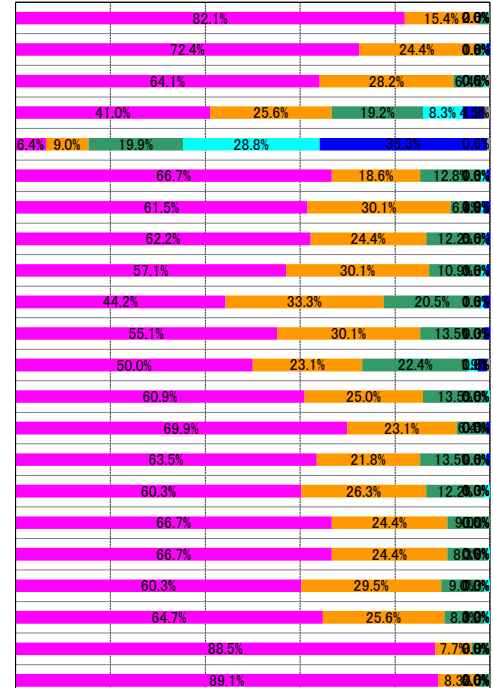
<授業方法>



■設問別評価集計表

アンケート設問内容		評価平均	評価構成 (件数)					無回答
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
学修意欲	1 授業への出席率ほどの程度でしたか。	4.8	128	24	4	0	0	0
	2 私語、居眠り、内職、携帯電話(メール)はしない、飲食物を持ち込まないといった基本エチケットは守っている。	4.7	113	38	3	1	1	0
	3 学ぼうという意欲や積極的な姿勢をもってこの授業に臨んでいる。	4.6	100	44	10	1	0	1
	4 よくわからないことは積極的に質問している。	3.9	64	40	30	13	7	2
	5 この授業のために毎週平均どのぐらい予習または復習を行いましたか。	2.2	10	14	31	45	55	1
授業内容	6 シラバスに基づき授業が進められた。	4.5	104	29	20	2	1	0
	7 この授業を通して、大学での学修方法や大学生活に慣れることができた。	4.5	96	47	10	1	2	0
	8 授業では、重要なポイントをはっきりと示してくれた。	4.5	97	38	19	1	1	0
	9 授業のレベル・内容は自分にとって必要性・有用性が感じられるものであった。	4.4	89	47	17	2	1	0
	10 知的興奮を覚えたり、もっと勉強したいという気持ちになった。	4.2	69	52	32	1	2	0
	11 この授業は全体として満足のいくものであった。	4.4	86	47	21	0	2	0
授業方法	12 教科書、参考文献、教材(視聴覚教材を含む)などが、効果的に活用された。	4.2	78	36	35	3	3	1
	13 授業を進める速さは適切であった。	4.5	95	39	21	1	0	0
	14 教員の話す言葉は聞き取りやすかった。	4.6	109	36	10	0	1	0
	15 授業のねらいや学生の到達すべき目標について明確に提示された。	4.5	99	34	21	1	1	0
	16 授業の流れが、体系的に良く組織化されていた。	4.5	94	41	19	2	0	0
	17 教員の授業準備は十分であると感じた。	4.6	104	38	14	0	0	0
	18 研究や教育に対する教員の熱意や真剣さが伝わってきた。	4.6	104	38	13	1	0	0
	19 学生の反応や理解度・到達度に配慮した授業の進め方であった。	4.5	94	46	14	2	0	0
	20 学生と双方向の授業が展開されていた。	4.5	101	40	13	2	0	0
	環境	21 授業クラスの人数は適切である。	-	138	12	6	0	0
22 教室の広さや環境は適切である。		-	139	13	4	0	0	0

■評価5: そう思う
■評価4: どちらかと言えばそう思う
■評価3: どちらとも言えない
■評価2: あまりそう思わない
■評価1: そう思わない
■無回答



(設問1) 評価5: 100%、評価4: 90%台、評価3: 80%台、評価2: 70%台、評価1: 70%未満

(設問5) 評価5: 3時間以上、評価4: 2~3時間、評価3: 1~2時間、評価2: 1時間未満、評価1: 0時間